



No. 388

令和8年2月号

茂原市教育委員会
茂原市青少年指導センター

〒297-0037

茂原市早野17-1

相談電話 0475-22-0080

一般電話 0475-22-4466

FAX 0475-22-0080



1月11日(日)に茂原市「二十歳のつどい」が市民体育館にて開催されました。二十歳を迎えたみなさん、おめでとうございます。今回は、代表(2名)の^{ばっすい}ことばを抜粋し、紹介させていただきます。

私は現在、大学で情報通信について学んでいます。この分野はここ10年で大きく発展しましたが、人々がパソコンやスマートフォンを使い続ける限り、これからも進化していくのだと思います。学習はプログラミングや回路だけでなく、数学や力学など幅広く多岐にわたります。専門外のものも多くありますが、苦手な分野にも目的をもって取り組む大切さを感じています。

ここで、昨年10月にノーベル生理学・医学賞を受賞された坂口志文^{さかぐちしもん}先生の言葉を紹介します。受賞後の会見で先生はこうおっしゃいました。「自分で興味のあることを大切にし、それをずっと続ければ新しいものが見えてくる。気がついたら非常に面白い境地^{きょうち}に達している。」この言葉は、研究に限らず、私たちの生活にも通じると思っています。日常の中で「これはなんだろう」と興味を持つこと、その小さな疑問が新しい発見や成長につながるのではないのでしょうか。忙しい毎日の中でも、自分の好きなこと・興味のあることに^{ぼっとう}没頭する時間を持つことは、とても大切なことだと思います。



今まで支えられてきた私たちは、これからは支える立場へと変わっていきます。自分の価値観を大切にし、信念を持って歩むこと。そして、夢や目標に向かって努力を惜まず、周りへの感謝を忘れずに成長していきたいと思っています。

成人になるということは、終わりではなく新しい人生の始まりです。今日という日を新たな出発点として、自らの人生に責任を持ち、社会の一員として^{ほこ}誇りをもって歩んでいきましょう。

(茂原中学校卒業生 鈴木 茉奈佳さん)

私から2つお話ししたいことがあります。

まず、身の周りの方々への感謝です。私たちは生まれてから今日までの20年間、本当に多くの方に見守られ、支えられてきました。産み育ててくれた両親や保護者の方々、学校や習い事の先生、地域の皆様、そして共に過ごしてくれた友人たち。数え切れないほど多くの支えがあったからこそ、今の私たちがいます。心より感謝申し上げます。これからは、私たち自身も誰かの支えとなれるよう、社会の一員として精進してまいります。



次に、私の座右の銘を紹介させてください。私の座右の銘は「ハイリスク・ハイリターン」です。リスクが大きいほど得られるリターンも大きいという意味ですが、ここでお伝えしたいのは“挑戦することの大切さ”です。私はこれまで、中学校・高校生活を通じて多くのことに挑戦し、失敗から学び、成功の喜びも味わってきました。そうした経験を重ねる中で、挑戦することそのものの楽しさを知ることができました。

挑戦には覚悟が必要で、失敗や周囲の目を気にして踏み出せないこともあります。しかし、どれだけ考えても行動しなければ何も始まりません。私も覚悟を持って挑戦してきたからこそ、この場に立てていると感じています。

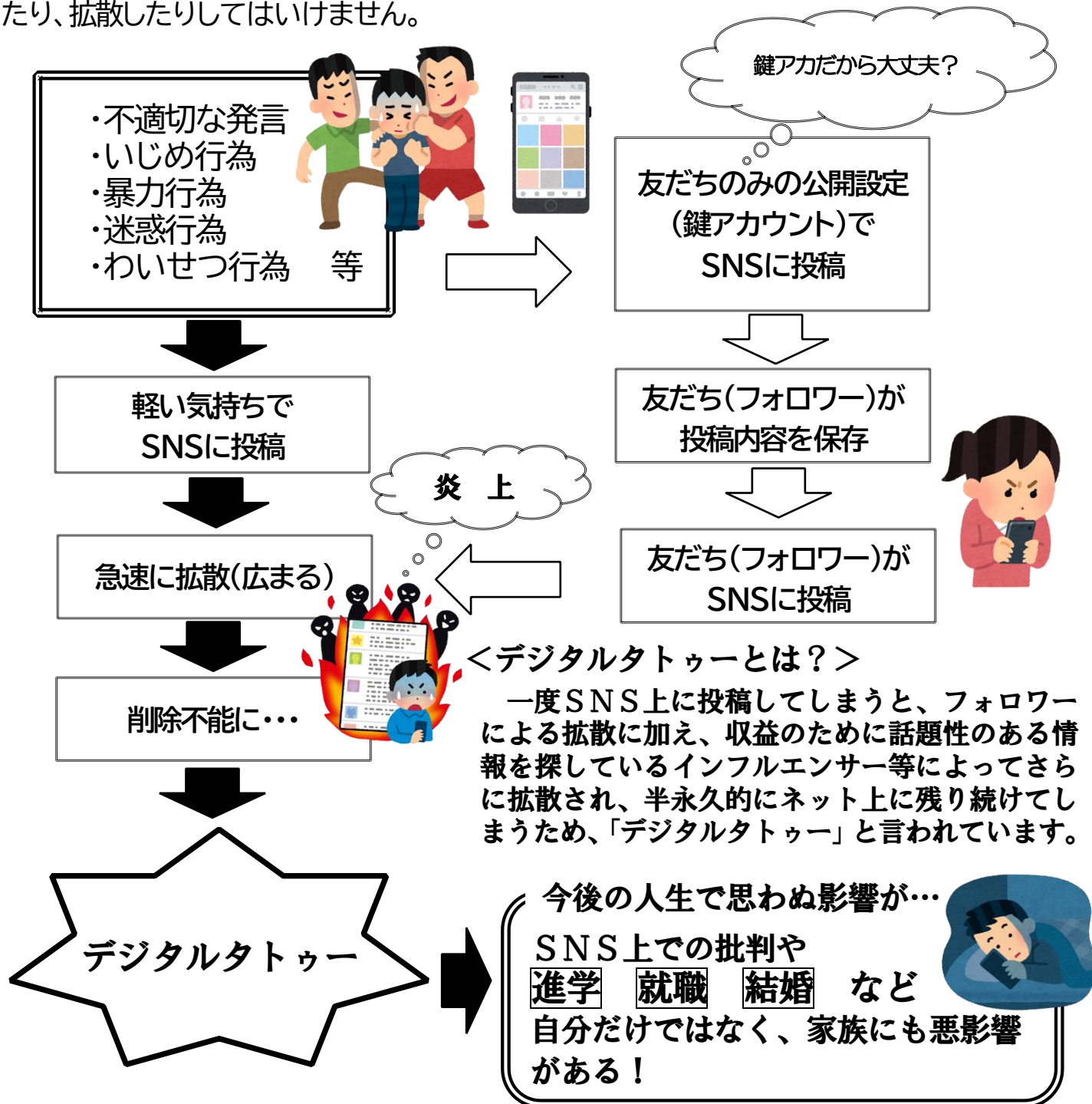
二十歳を迎え、すでに社会で働いている人、学業に励んでいる人など、私たちの立場はさまざまです。しかし、どんな環境にあっても現状に満足することなく、新しいことに挑み続ける大人でありたいと思います。

(東中学校卒業生 渡邊 楓馬さん)

その投稿で人生が台無しに…

最近では、栃木県立高校のトイレ内や大分市立中学校の廊下、熊本県の商業施設内での暴行の様子を撮影した動画がSNS上で拡散され、大きな問題となっています。

このような暴力行為は絶対にあってはなりません。また、その様子をSNSで自ら投稿したり、拡散したりしてはいけません。



広報紙『くす』の配付の仕方が変わります

広報紙『くす』について、これまで紙媒体で配付してきましたが、ペーパーレス化を図るため、令和8年4月号から小中学校の配付分を電子データに変更する予定です。小中学生の各家庭へは連絡アプリ「tetoru」等を通して配信されます。各学校以外の地域回覧分や関係機関へは一部を除き、これまで通り紙媒体でお配りする予定です。

『くす』の電子データ化についてご意見がございましたら、スマートフォン等で二次元コードを読み取り、ご意見をいただければ幸いです。

